

Y's Men International

YMI

WORLD



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

Only for private distribution to members



YMIワールド
2022-2023 No.3
日本語版

内容：活動ニュース：追悼 - 元国際会長 フィリップ・マタイ・ラウリドセンが国際会長に就任・国際選挙結果 2023 ・ カバーストーリー
国際歴史家、デビー・レッドモンドによる 100 周年記念式典への旅・ゲストエッセイ：「昆明、モンリオール生物多様性協定書は
地球を救うか」K・N・ニナン ・ YMI グローバルプログラム：iGo 発進 リタ・ヘティアラチ元地域会長 /iGo 国際事業主任 ・ 地域から
のニュース：ディストリビューション スリランカにおける食糧難の家庭の子どもたちへの食糧配布・ デンマーク ワイズメン、地震被
災者に連帯支援 ・ エカテリンブルグのワイズメンが「家族の居間」を経験するために集合・ もうひとつの清掃活動開始 ・ カナダの
クラブが財布の紐を緩める ・ YMI 中東区の野菜農園で収穫体験（アラブ首長国連邦・アジュマン） ・ アルバムに 1 枚：YMI100 周
年における元国際会長 ・ 魂の真言：マックス・エディガーによる 2 つのポエム

読者の皆さまへ



ワイズメンズクラブ国際協会の世界にとって、今年の第1四半期は波乱に満ちたものとなりました。国際会長の任期途中での辞任という前代未聞の事態が突如として発生し、事務局としてはいくつかの課題を抱えることになりました。しかし、ウルリック次期国際会長は一步も引かずに会長に就任し、この運動をここ数年で最大のイベントへと導きました。待ちに待った100周年記念祝賀会が台北で開催され、フェイスブックの投稿や何千枚もの写真から判断するに、このイベントは仲間を祝福し、強化するための大きな出来事でした。600人以上が参加したこのイベントは、テクノロジーが大きな役割を果たすユニークなものだったようです。個人的には、この古い魂にとって最新テクノロジーについていけないのが残念です。

私たちは、国際歴史家のデビー・レッドモンドに特別特派員を依頼し、イベントの概要を伝えてもらいました。そして今号では、3日間のイベントを俯瞰し、シニアリーダーであるヘンリー・グリンドハイム元国際会長、ジョン・ウィルソン元国際会長、ジェニファー・ジョーンズ元国際会長、リタ・ヘティアラッチ元地域会長、そしてダン・エバーリー区理事らが、個人的な見解や感想を加えています。また、田中博之元地域会長には、イベントの様子を撮影した数百枚の写真を快く提供してもらいました。このような素晴らしいイベントの記録として、このYMIワールドを作成するために寄稿してくれたすべての方々に、心から感謝いたします。

私たちは、国際歴史家のデビー・レッドモンドに特別特派員を依頼し、イベントの概要を伝えてもらいました。そして今号では、3日間のイベントを俯瞰し、シニアリーダーであるヘンリー・グリンドハイム元国際会長、ジョン・ウィルソン元国際会長、ジェニファー・ジョーンズ元国際会長、リタ・ヘティアラッチ元地域会長、そしてダン・エバーリー区理事らが、個人的な見解や感想を加えています。また、田中博之元地域会長には、イベントの様子を撮影した数百枚の写真を快く提供してもらいました。このような素晴らしいイベントの記録として、このYMIワールドを作成するために寄稿してくれたすべての方々に、心から感謝いたします。

私たちは、台湾区とホストコミティーの努力に非常に感謝し、「親睦と食事と未来へのインスピレーションに満ちた楽しい数日間」を与えてくれたイベントを提供してくれたことに敬意を表します。

オーストラリア・ベンディゴのクラブブリテンの最新号には、こんな痛快な一文が掲載されていました。「『地球は、私た

表紙写真：YMIの100周年を祝う巨大な半球型のケーキが運ばれて来て、切り分けられました。

写真提供：田中博之（日本）

YMIワールド

ワイズメンズクラブ国際協会

国際本部:Ave Sainte-Clotilde 9, CH-1205 スイス

国際編集長:コシー・マシュー

日本語版翻訳グループ:田尻忠邦(委員長・大阪)、田中博之(東京多摩

みなみ)、朝倉正昭(東京世田谷)、今城高之(横浜つづき)、

生川美樹(川越)、利根川恵子(川越)、花輪宗命(東京八王子)、

比奈地康晴(東京)、倉田正昭(京都)、谷川寛(大阪センテナアル)、

谷本秀康(広島)、中井信一(奈良)、前田香代子(熊本ジェーンズ)

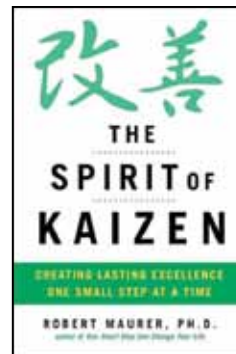
印刷:(株)三浦印刷所 三浦克文(岡山)

ちがない方がいい。』という落書きがよくあるそうです。私たちの種は、わずか数世紀の間に地球の生物圏を混乱に陥れた罪を犯しています・・・。」地球を救うことが優先され、何度か行われたサミットや会議では、期待されるような効果は得られませんでした。少なくとも今のところは、まだです。経済学者であり、ワイズ運動の旧友でもあるK・N・ニナンは、ゲストエッセイの中で、生物多様性や生態系の劣化を助長してきた、誤った補助金支給や政府政策の変更を求める「昆明-モントリオール生物多様性フレームワーク」について考察しています。どうぞお読みください。

ワイズリー

コシー・マシュー

私の本棚から



「カイゼンの精神:小さな一歩で持続する卓越性を創造する」

ロバート・マウラー著

今日の企業は、革命的で即効性のある変化というアイデアを好みます。しかし、大きな「破壊的」な取り組みはしばしば失敗します。なぜなら、急激な変化は私たちの脳に警鐘を鳴らし、明確で創造的な思考力を閉鎖してしまうからです。しかし、より効果的な変化への道があります。持続的で力強い変化です。それは、小さな一歩から始まる変化です。この「カイゼン」の精神は、目標達成に大きな影響を与える小さなステップを実行するための実証済みのシステムです。有名な心理学者でコンサルタントのロバート・マウラー博士による、このステップバイステップのガイドでは、次のような方法が紹介されています:

・コスト削減-小さな報酬を提供する
 ・品質向上-ミスを減らす
 ・困難な人々を管理する-一度に一歩ずつ
 ・モラルと生産性を高める-1日5分で
 ・大きなアイデアを実行する-小さくても着実な行動を通じて
 ・より少ない時間で、より多くの売上を上げる

厳しい上司や元気のない社員、頑ななクライアントやうるさい顧客まで、あらゆる人々に対処する「スモールステップ」の秘訣を発見できます。

このシンプルで強力なテクニックは、ほとんどすべての職場の状況に適用できます。特に、急激な変化、厳しい期限、熾烈な競争などの荒波を乗り越えようとするときには、このテクニックが役立ちます。ボーイング、トヨタ、アメリカ海軍などの大組織で実証されています。小さな継続的な改善方法は、あなたにも有効です。どんなに大きな障害でも、どんなに大きな夢でも、「カイゼンの精神」には、あなたを成功に導くための小さなステップの解決法があります。

(第三者による書評)

追悼 元国際会長 フィリップ・マタイ (1938 ~ 2023年)



ワイズメンズクラブ国際協会は、フィリップ・マタイ元国際会長が2023年1月30日にインド・コチ市の自宅で逝去されたことを悼みます。享年84でした。フィリップ・マタイ元国際会長は第87代国際会長で、2012/13年度に在任していました。遺族は妻のエリザベスと2人の息子です。世界中のワイズメンズクラブ国際協会ファミリーは、フィリップ元国際会長のご家族とご友人を想い、祈りを捧げます。

ラウリドセン、国際会長に就任

2023年1月17日にK・C・サミュエルが国際会長を辞任したことを受け、次期国際会長のウルリック・ラウリドセンが、国際憲法第5条第2E項に基づき、自動的に国際会長に就任しました。デンマークのバイレ出身のラウリドセンは、「輝かそう、あなたの光を」というテーマと「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」というスローガンを選びました。ラウリドセンが国際会長に就任後、3月10日から12日まで台北で開催された「ワイズメンズクラブ国際協会創立100周年祝賀会」では、3月12日（日）の午前中に現・次期国際執行役員就任式が行われました。セレモニーでは、ムン・サンボン元国際会長の司式によってウルリック・ラウリドセン国際会長が正式に就任し、2023年7月1日からの次期国際会長としてチ・ミン・シェン（チャーミング）が迎え入れられました。シェンのホームクラブである台北ダウタウンのクラブ会長が、「次期国際

会長ホームクラブ」のバナーを受け取りました。キム・サンチェ直前国際会長、T・M・ジョース国際会計、エリック・ブレイオム国際会計も就任式に参加しました。



2023 年国際選挙結果

台湾のチ・ミン・シェン(チャーミング)が、2023/24年度の次期国際会長に選出されました。彼は2024年7月1日に国際会長に就任する予定です。また、エリック・ブレイオムが次期国際会計に選出されました。今年の国際選挙の投票用紙の提出期限は2023年1月30日でした。投票終了時点で、666のクラブが投票しました。投票資格のある合計822クラブからすると投票率は81.02%です。次期国際会長の投票に加え、次期国際会計の投票がクラブに求められ、さらに2つのエリアでは、今年は国際議員、国際議員(ヤング)、次期国際議員の投票が求められました。アフリカ、ヨーロッパ、ラテンアメリカのメンバーは、無投票で選出されました。



チ・ミン・シェン(チャーミング)
(台湾、台湾区)
次期国際会長 2023.7.1-2024. 6.30
国際会長 2024.7.1-2025.6.30



エリック・ブレイオム
(デンマーク、デンマーク区)
次期国際会計 2023.7.1-2024. 6.30
国際会計 2024.7.1-2027.6.30



ベスウェル・マシュー・ンペンブルワ
(ザンビア、アフリカ南東区)
次期国際会計 2023.7.1-2024. 6.30
国際会計 2024.7.1-2027.6.30



ヤン・ヤン・ウォン(ジヨウン)
(香港、南東アジア区)
次期地域会長 / 次期国際議員
2023.7.1-2024. 6.30
地域会長 / 国際議員 2024.7.1-2025.6.30
元地域会長 / 国際議員 2025.7.1-2026.6.30



オドゥネ・ベスネス
(ノルウェー、ノルウェー区)
次期地域会長 / 国際議員
2023.7.1-2024. 6.30
地域会長 / 国際議員
2025.7.1-2026.6.30



V・S・ラダクリシュナン
(インド、中央トラヴァンコール区)
次期国際議員 2023.7.1-2024. 6.30
国際議員 2024.7.1-2026.6.30



ピルソン・ルイス
(インド、西インド区)
次期国際議員 2023.7.1-2024. 6.30
国際議員 2024.7.1-2026.6.30



ニランジャラ・ビマル
(インド、南西インド区)
国際議員(ヤング) 2023.7.1-2025. 6.30



メリー・コンスロ・カストロ・デ・ガスマン
(ボリビア、ラテンアメリカ区)
次期地域会長 / 次期国際議員
2023.7.1-2024. 6.30
地域会長 / 国際議員 2024.7.1-2026.6.30

「私たちは、YMIのレガシー、ミッション、そして第1世紀におけるインパクトを誇らしげに祝いました。すべての人のための公平で持続可能な世界を築くために、次の世紀に向けてみんなで一緒に歩んでいこう。」と、2023年3月12日に台湾・台北でのYMI100周年記念祝賀会で、国際会長のウルリック・ラウリドセンと100周年記念委員長のヘンリー・ワルサーによって宣言されました。

100周年記念式典への旅

国際ヒストリアン デビー・レッドモンド



100周年記念式典にたどり着くまでが、旅でした。いろいろな意味での旅でした。1922年から現在に至るまでの旅は、実に困難なものでありました。新型コロナウイルスの影響で2度の国際大会が中止され、実際の記念式典が延期されたことも旅でありました。この旅の終わりには、世界の

さまざまな地域から集まった人々が一緒に祝うことができる、美しい再会がありました。友人たちが実際に再会し、コンピューターの画面上での時間を超えて一緒にいられることに興奮を覚えました。それは、再会し、YMIの精神に再度点火をする時間でした。100周年記念イベント開始の前日には、伝統的なゴルフトーナメントが催されました。式典当日は、多くの人々が募集に応じて、案内板を持ったり、マーシャルになったり、受付を手伝ったり、多様なパフォーマンスやステージイベントへの協力や才能を提供したりと、様々な方法で式典に協力しました。



式典に参加したことを誇りに思いました。そして、このセレモニーが始まったとき、魔法にかかったような雰囲気漂いました。

多くのスピーチやパフォーマンス、そして素晴らしい食事を通して、時間はあっという間に過ぎていきました。ソヘイラ・ハイエック世界YMCA同盟会長のスピーチは、多くの含蓄がありました。また、ナム・ブー・ウォンアジア・太平洋YMCA同盟総主事の挨拶は、この祝賀会に異なった趣を与えてくれました。

次ページへ続く→



国際大会では1929年頃からフラッグ・セレモニーを行っており、地域大会や区大会でもよく行われています。しかし、今回のフラッグ・セレモニーは特別なものでした。国旗の代わりに各地域の旗が掲げられ、旗手を務める人たちは、この



YMI 100 - 素晴らしい仲間との再会



3月に台湾の台北に行き、待ちに待った100周年記念式典に参加できたことは、私にとってなんと素晴らしい再会であったことでしょうか。アジアを中心に、他の地域からも含め、約600人の参加者が集まり、お祝いをしました。再び直接会うことができたのは、素晴らしいことでした。

まさに週末を通して続く壮大なバースデーパーティーでした。多くの旧友に会い、また新しい友人を紹介されました。

私個人としては、ノルウェーから台湾まで、24時間近い長旅でしたが、この旅で何時間も空中で過ごす価値は十分にありました。

プログラムはよく準備され、値千金の思い出、厳粛な就任式、そして次の100年に何が待っているのかを展望する機会も織り交ぜられていました。

元国際会長クラブの新会長に選ばれた私にとって、出席していた8人の元国際会長に前に出て来てもらい、聴衆に彼らを紹介することは、特別な素晴らしい瞬間でした。私はその一人であることを大変光栄に思っています。

このような素晴らしいイベントを開催し、私たちに値千金の思い出を与えてくれた台湾のワイズメンの皆さんに、大きなハグを捧げます。元国際会長 ヘンリー・J・グリーンハイム (ノルウェー)

カバーストーリー

そして、現在、私たちの心配の種となっている、大きな問題である環境についての講演が行われました。台北市長の歓迎のことは、100周年記念事業実行委員会のハンク・ウォルサー委員長の歓迎のことは、レオナルド・ロペスとアレックス・ホーの未来を見据えたスピーチ、私たちの歴史のキーポ

台北でのYMI100周年記念式典は今までにない経験

台北のグランドハイアットホテルでは、コンベンションホールに隣接する受付会場に入ると、温かい雰囲気漂っていました。新型コロナウイルスで離れ離れになった時間を取り戻すように、



たくさんのハグと笑顔が交わされていました。再会はすばらしいものでした。

シンプルなフラッグ・セレモニーで格調高い幕開けとなり、ウルリック国際会長が華々しく祝賀会を開会しました。台湾のダンサーが2夜にわたって観客を魅了し、韓国からは2人の素晴らしいオペラ歌手による特別なおもてなしがありました。

元地域会長のデビー・レッドモンドが、キム直前国際会長からボランティア賞を授与され、私たちは大きな拍手を送りました。まさにふさわしい受賞者です。また、名誉会員賞の受賞者の方々の寛大な気持ちは、レガシー・プロジェクトがYMIの現在と次の100年に大きな影響を与えることに貢献するものと評価されています。私と藤井寛敏、ジョウン・ウィルソン、ヘンリー・グリーンハイム、ムン・サンボン、ジェイコブ・クリステンセン、ジョン・チョア、キム・サンチェの7名の元国際会長が、長年にわたるYMIへの貢献とその重要性を認められ、壇上で紹介されました。

世界YMCA同盟のソヘイラ・ハイエック会長とアジア・太平洋YMCA同盟のロナルド・ヤム副会長に参加いただいたことは、とても嬉しいことでした。日曜の朝、プログラムの最初に国際執行役員就任式が行われました。私は、国際会長のウルリック・ラウリドセンを紹介し、彼の個人的な人生とYMIの幅広い経験について話すことができましたし、ムン・サンボン元国際会長は、就任式の主要部分をうまくリードしてくれました。

この記念すべき特別なイベントを盛り上げてくれたチャーミング・シェン次期国際会長や100周年記念事業実行委員会のハンク・ウォルサー委員長をはじめとするホスト・コミッティーに深甚の感謝を申し上げます。

台中と高雄を訪れる大会前のツアーで、ジョウン、デビーと私のために美しい国を紹介してくれた台湾のクラブメンバーには、心から感謝します。山間にある日月潭は素敵な驚きでしたし、佛光山寺はそのスタイルと魅力に目を見張るものがあり、参加した地元のクラブ例会では歓迎していただきとても楽しいものでした。とにかく喜びと笑顔に溢れた時間でした。

この素晴らしい組織の一員であることを光栄に思い、YMIを次の100年に導く役割を担ってきたこと、そしてこれからも担っていくことを幸せに思います。特別な友人であり、同僚でいてくださるみなさまに感謝します。

元国際会長 ジェニファー・ジョーンズ (オーストラリア)

イントとなる事項のプレゼンテーション、とすべてが祝賀会のアジェンダに素晴らしいコンテンツを追加しました。

その合間を縫って、友人やワイズメン仲間、区、地域など、メンバーと一緒に写真を撮っていました。たくさん



世界YMCA同盟を代表して、ソヘイラ・ハイエック会長がウルリック・ラウリドセン会長に花束を贈呈。100歳おめでとう!

の写真や動画が生まれました。多くの名刺と自国の小さな記念品が交換されました。台湾のパフォーマーによる素晴らしい文化を紹介する舞踊や、韓国の参加者の興奮は、文化は違うが目標を共有していることを示していました。韓国のヤン・ヘルとチャン・ホ・オーのオペラ歌唱と、ワイズソングの弦楽器伴奏による美声は、会場の静けさを魅了しました。また、素晴らしいギターやハーモニカの演奏もあり、魔法の時間が一層すばらしいものとなりました。

もちろん、ヒストリアンとして、私は25周年を思い出さずにはいられません。25周年は、第二次世界大戦をようやく過去のものとし、戦争では反対側で戦った人々がYMIというステージを共有する時でありました。50周年は、過去のリーダーシップを振り返りながら、平等を求め、人類の危機に焦点を当てたものでした。75周年は、環境問題への取り組

次ページへ続く→





国際議会議員、ポリビア出身のレオナルド・ロペス氏。ロペスは、「未来へのYMIビジョン」という基調講演を行い、YMIがどのように「伝統から現代へ」移行できるかについて、彼の考えを発表しました。後半は、過去に台湾でユース代表メンターを務めたアレックス・ホーによる講演でした。ホーは、経済や仕事の環境が変化することで、組織はどのように適応を迫られるのか、また、それが将来的にYMIをどのように形成する可能性があるのかを、参加者が考えることを要請しました。

みと青少年への機会提供に重点を置きました。そして、100周年記念式典では、環境だけでなく、過去にとらわれることなく、現在と未来を見据える2人の若いリーダーによって、未来について語られました。私たちの歴史の第2世紀を迎えるにあたり、新たな挑戦や変化はあるものの、誇りと帰属意識は常に重要な部分です。

この祭典は、紛れもなく旅でした。大会が開かれるように

次ページへ続く→

この記念すべき祭典に参加できて幸せ

「YMI ワールド」に一言書くには、これ以上ない、良い機会です！編集長のコシー、私の考えや気持ちを伝えるために私を招待していただきありがとうございます。



私は幸運にもこの記念すべき祭典に参加することができ、多くの壮大な出来事に立ち会うことができました。大会実行委員会委員長・チャーミング・シェン地域会長・次期国際会長の偉大なリーダーシップの下、台湾の友好的なワイズメンが何週間、何ヶ月、何年にもわたるたゆまぬ努力を重ね、すべてのワイズメンが忘れられない100周年記念祝賀会を存分に楽しんだ、素晴らしい結果を残すことができました！

グランドハイアットでのオープニングが印象的でした。毎食の素晴らしい料理はとても美味でした！それに、3年近く年次大会から遠ざかりながらも、この瞬間までズームで連絡を取り続けたパンデミックの期間が、かつてないほどの幸福をもたらしたことに気づきました。素晴らしいことです！

シャトルバス、食事、イベント、そして100周年記念祝賀会のプログラムの成功に至るまで、よく計画され、よく実行されたイベントに尽力したチームには脱帽です。

最終日に行われたウルリック国際会長と100周年記念行事実行委員会・ヘンリー・ウォルサー委員長による宣言は、次の100年を継続するために、次のレベルにステップアップするよう、私たちの心を支えてくれることでしょう。

元アジア太平洋地域会長、iGo 国際事業主任
リタ・ヘティアラチ (スリランカ)

ラッキーな私



3月10日から12日まで台北で開催された、電撃的とも言える、意義あるYMI100周年記念式典に出席できたことは、私にとって大きな喜びであり特権でした。私にとってのハイライトは以下のとおりです：

・世界中から集まった多くのYMIの友人たちに直接会うことができたこと。再会したとき、喜びの涙とたくさんのハグがありました！

・YMIの100年にわたる記念すべきできごと、遺産、インパクトを紹介する100のストーリーを収録した「Celebrating Our Legacy」(記念誌「我々のレガシーを祝って」)を手に入れたこと。

・熟練したパフォーマーやクラブメンバーによる素晴らしいエンターテイメントを堪能したこと。

・地球の半分の形をした巨大なバースデーケーキが会場に運ばれてきて、それをカットした一切れを食べることができたこと。

・美味しいものをたくさん食べることができたこと！

・次の世紀に向けて、私たちの運動に期待することを、2人の活動的な青年会員から聞くことができたこと。

・講演者や特別なビデオを通して、YMIの多数の特別なストーリーを見聞きできたこと。YMIには誇れるものがたくさんあります！

・世界YMCA同盟の会長に祝典の全期間中ご臨席いただき、大変光栄であったこと。

私は、このイベントが皆にとって最も思い出深いものになるよう、ホストの皆さんが素晴らしい努力をされたことを賞賛します。この式典をホストして下さった台湾区の皆さま、ありがとうございました！私はとてもラッキーです！

元国際会長 ジョウン・ウィルソン (カナダ)



台北のYMI100周年記念式典で、2つの新しいIBCの関係が築かれました。台北ダウンタウンクラブ(台湾)とラハフィリピンクラブ、大阪クラブ(日本)とトレドセントラルクラブ(米国)でした。

カバーストーリー

なった当初から、人々はその場にいるために遠くまで旅をしましたし、それは今も変わっていません。過去に大会に参加するための困難があったように、今回もチャレンジは発生しました。国際大会のために遠距離を移動し、困難に耐えなければならない人もいました。しかし、友人やリーダーの顔を見れば、すべては忘れ去られます。各人が帰国したとき、刺激を受け、これからの旅に新たな焦点を合わせているようです。

おめでとうございます。

10月に既報の通り、2021/22年度のハリー・M・バランタイン賞の受賞者は、デビー・レッドモンドです。

台北で開催されたYMI100周年記念式典の中で、長年、奉仕を続けてきた、情熱的な国際ヒストリアンに協会最高の栄誉を贈るのに、これ以上ふさわしい機会はないでしょう。キム・サンチェ元国際会長が土曜日の夜のガラ・ディナーで贈呈式を行いました。

世界のYMIファミリーから、デビーへ、お祝いと感謝を申し上げます。おめでとうございます、そしてありがとうございます、デビー!



私たちの運動の神髄はフェロウシップにあり

ティボール・フォキ（リーダーシップ・トレーニング&組織開発国際事業主任）と私が台北の空港に到着した瞬間から、私たちは特別なゲストとして扱われました。リリー・ローと台北ブリッジズ・クラブのメンバーが歓迎のサインで出迎えてくれ、グランドハイアットに案内されました。

ハンク・ウォルサー（サンタモニカ・クラブ会長）が100周年記念事業実行委員会委員長を務め、式典の開会を宣言しました。私は、開会式で米国地域の旗を持つことができ、光栄でした（残念ながら、米国からの参加者は5人だけでした）。台湾区全体が、多くの宴会、エンターテインメント、ツアーで素晴らしい仕事をしてくれました。全部とは言わないまでも、ほとんどの台湾区のメンバーが参加し、すべてがうまくいくことを確実にするために尽力してくれたと言わなければならないでしょう。

毎日がアクティビティと素晴らしいバンケットで満たされていました!台北の観光地を訪れることもできましたが、一番のハイライトは、私たちが出会い、食事を共にしたワイズメン、ワイズウィメン、ワイズメネットの皆さんでした。私たちの運動が親睦を深めるものであることは明らかで、皆とてもフレンドリーでした。ありがたいことに、私のアメリカン・イングリッシュでも、互いの楽しさを共有するのに十分に役立ちました!たくさんの乾杯をし、写真を撮り、つむじ風のような速さで式典は過ぎて行きました!

野柳ジオパークを散策し、大会実行委員会委員長・次期国際会長のチャーミング・シェンが主催するシーフードレストランでのビューフェ・ランチを楽しんだ後、台北YMCAホテルをチェックアウトするまで、台湾区のみなさんのお気遣いは続きました。

太平洋南区理事 ダン・エバーリー（米国）



そして、2023年3月12日～14日に台北YMCAで開催された国際次期理事サミットには、世界のさまざまな区から50名以上の次期理事が参加しました。

昆明・モンリオール生物多様性条約は地球を救えるか？

K・N・ニナン博士

2022年12月5日から19日までカナダのモンリオールで開催された国連生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)において、長引く交渉と新型コロナウイルス



の流行による混乱を経て、188カ国が「昆明・モンリオール生物多様性フレームワーク」を批准しました。この生物多様性フレームワークは、2010年10月に名古屋で開催されたCOP10で承認された、生物多様性を保全し、人々への恩恵を高めるために、すべての国

やステークホルダーが行動するための枠組みを提供する20の「生物多様性愛知目標」を含む国連の生物多様性戦略計画(2010-2020)を引き継ぐものです。

国連による評価では、世界は、2020年までに陸上および内陸水域の17%、沿岸および海洋地域の10%を保護または保全すること、森林減少や自然生息地の損失を少なくとも半分に減らすこと、汚染レベルを減らすこと、劣化した生態系の少なくとも15%を回復させることなど、「生物多様性愛知目標」のほとんどを達成できていないことが明らかになりました。目標が達成できなかった大きな理由は、一部を除き、ほとんどの目標が測定可能な指標を持たない曖昧なものであったことです。

全く逆に

生物多様性と生態系サービスに関する政府間プラットフォームによる「生物多様性と生態系サービスに関する世界評価報告書」(2019年)は、生物多様性損失の割合は減少するどころか、過去数十年で加速していて、加速的な行動が取られない限り、約100万種が今後数十年で絶滅に直面すると指摘しています。

2022年から2030年にかけての新しい生物多様性フレームワークは、持続可能な開発のための2030アジェンダとその持続可能な開発目標(SDGs)に沿って、2030年までに生物多様性と私たちの社会の関係に変革をもたらし、2050年までに、自然と調和した生活という共通の

K・N・ニナン博士は生態系経済学者で、世界で35カ所ある生物多様性ホットスポットの一つであるインド南部の西ガーツ山脈の熱帯林における生物多様性保全の経済的・制度的側面を理解することを研究テーマとしています。

ビジョンが実現するよう、幅広い行動を実施する意欲的な計画を定めています。

この枠組みは、2050年の生物多様性ビジョンを実現するための4つの長期目標と、2030年までに達成すべき23の生物多様性グローバルターゲットを定めています。特に、2030年までに生物多様性の豊かな地域と重要な生態系の損失をゼロに近づけること、2030年までにすべての陸上・内陸水域と沿岸・海洋地域の少なくとも30%を確実に保全すること、劣化した生態系の30%を回復すること、侵略種がもたらす脅威を50%削減することが求められています。また、先住民や地域コミュニティの権利の尊重、環境人権擁護者の保護、ジェンダー対応、意思決定における参加型・包摂的なプロセスに従うことを求めています。気候変動に強く、生物多様性に配慮した地球を実現するために、総合的害虫管理と効率的な栄養循環によって農薬や有害化学物質の使用を50%削減し、持続可能な消費活動を促進し、世界の食品廃棄物とゴミの発生を半減することを求めています。また、生物多様性と気候の危機に対処するために、自然に基づく解決策を含む生態系ベースのアプローチの使用を推奨しています。

優先順位を正しくすることが、今後の課題です

誤った補助金や政府の政策が、生物多様性や生態系の劣化を促してきました。そこで、この枠組みでは、2030年までに年間約5,000億ドルの補助金を削減し、生物多様性の保全と持続可能な利用のためのインセンティブを拡大することを求めています。また、生物多様性の国家目標の実施を可能にするため、2030年までにすべてのソースから少なくとも年間2,000億ドルを動員することを要求しています。

生物多様性の世界目標は、各国の事情や優先順位を考慮して、各国の目標に変換する必要があります。しかし、むずかしいのは、以下の点です：この野心的な生物多様性目標を実行する政治的意志が各国にあるのか、それとも以前の枠組みのような運命をたどることになるのか？ パリ協定では、途上国の気候変動への適応を支援するため、先進国に対して2020年までに少なくとも年間1,000億米ドルを拠出するよう求めています。これまでに達成されたのはそのほんの一部です。ウクライナへの武器援助には急遽数十億ドルが拠出されましたが、気候変動や生物多様性の危機に取り組むための資金動員は遅々として進んでいません。

iGo 発進

iGo 国際事業主任 (元地域会長リタ・ヘティアラチ)



iGoは、ワイズメンズクラブ国際協会とYMCAの合同職場体験プログラムです。それはYMIファミリーの一部の(計画旅行時における)18~30歳の若者で、以下の者を対象としています。

- ・ワイズウイメン、ワイズメン、ワイズメネットの子どもと孫

- ・自分自身が、YMI加盟各クラブ、ワイズメネットクラブもしくはワイズユースクラブのメンバーである対象の年齢層の若者

- ・YMCAジュニアスタッフ

スリランカYMCAでのインターンシップは、島の東部州にある経済的に恵まれない人々のための中等学校において、国際助成金支給に焦点を当てた申請の申し込みを受付けています。励みになるのは、インターンシップ提供者であるYMCAが、スリランカの経済危機はインターンに影響を与えないと言っていることです。

高校卒業資格または同等の資格をお持ちの方は、この好機を掴むようにしてください。詳細はYMIのウェブサイトをご覧ください。

最初の成功したインターン

エストニア出身のゲルト・ゲンタレンは、iGoの最初のインターン生でした。以下の彼のわくわくするような報告を読んでください(囲み記事参照)。

ドワイト・トムリンソンは、2022年9月16日にコンボのプリシュティナに向けて出発しました。メンタルヘルス問題に焦点を当てた若者向けの言語とリーダーシップのトレーニングのスキルアップに関するプログラムを作成するにあたり、YMCAのエディと彼のチームが、ドワイトの興味に合ったプログラムの作成するのを支援してくれたことに心から感謝申し上げます。加えて、ドワイトの文化体験の機会を増やすために、YMCAが、ドワイトの宿泊費を免除してくれたことにも、これはかなりうれしい驚きでしたが、感謝申し上げます。

iGoの3番目のインターンは、ラトビア出身のオスカー・ムシエネクスでした。エストニア、パルヌのYMCAは、オスカーをインターンとして受け入れ、彼は2023年1月15日にiGoの旅を開始しました。

私は、彼に実りある経験をしてもらいたいと願っています。

地域、区およびYMCAは、iGoに参加してインターンシップの機会を増やすのに貢献してはいかがですか?YMIのウェブサイトのiGoのページ(<https://ysmen.org/igo>)にアクセスして、あなたがたからの申し出をしてください。

本当の自分を理解するのを助けること

iGo インターンとしての私の旅は、2022年の国際ユースコンボケーション(IYC)から始まりました。そのIYCの1週間は、一生の友達を作るだけでなく、学びと新しい人々との出会いでいっぱいでした。

IYCの後、英語キャンプに参加しましたが、それも、楽しくて、私にとっては新しい経験でした。

私は、タイに滞在するためのお金を稼ぐため連続して6か月以上働いたので、その後、自分のために休暇を取りました。

私のiGoインターンとしての公式の時間と仕事はグリーンアンバサダー研修から始まりました。私にとって、それは目を見張るものでした。私は、非常に多くの有益な情報を得て、これからの人生に活かせる新しい友達やつながりを作ることができました。

10月は、沢山の探求をした時でした。YMCAのスタッフと知り合い、彼らが何をしているのか、またYMCAとは何なのかを沢山学びました。私たちはまた、別の英語キャンプをし、ランブーンYMCA英語学校に行き、3クラスの手伝いをし、学生たちが新しい言語を使うのを怖がらないように動機付けも行いました。また、「ルースの娘たち財団」の子供たちとゲームをしたり英語を学んだりして3日間過ごしました。Zoomを介してシンガポールのグループも参加してきました。私は、シンガポールの子供たちと同じような家で育ったので、私にとっては、とても感動的でした。

11月にはアメリカとカナダからのグループが、私たちと一緒に11日間滞在しました。私は、タイ中を旅して、ゾウを見たり、ゾウの糞から紙を作る方法を学んだり、ゲストとの多くの良い会話をしました。この時もまた、その後の人生に役立つ新しい友達やつながりもでき、

彼らとの有意義な会話もしました。私は、彼らの成熟した思考や行動、そして彼らが自らのことを大変うまく表現できるという点に驚かされました。

12月はアクティビティや仕事でいっぱいだと思っていましたが、今のところ、ここチェンマイでインターンになる機会を得て本当に幸せです。私は人とお付き合いをし、文化の違いを理解するスキルを多く学びました。私の英語は以前よりもはるかに上達し、今では英語で考えてさえいます。そして私は、ある意味で私が正しいことをしていることに気づきました。他の人を助けるのは、人としての私の一部なのです。

私は、ここでのこれからの3か月に本当にワクワクしています。これからの3か月は、最初の3か月と同じか、それ以上になるでしょう。チェンマイのYMCAは、私の第2の家になり、私が、ここより長く滞在できるように、ビザと労働許可証の延長を手伝ってくれたスタッフの方々には本当に感謝しています。今はすべてが順調で、本当の自分を理解するのに役立つこの旅に出てよかったです。

ゲルト・ゲンタレン



チェンマイYMCAの友人やスタッフとともに

スリランカにおける食糧難の家庭の子どもたちへの食糧配布

ユニセフの報告書からスリランカの子どもたちが直面している深刻な経済的困難を知ったマカオの聖公会の主教、クリスマスと新年の献金をスリランカの深刻な飢餓に苦しむ人々のために寄付するよう信徒に呼びかけました。その結果、思いやりのある信徒から2,000米ドル余りの寄付が集まりました。この寄付金は、マカオの牧師



つコロンボクラブによって実施されており、540人以上を支援しました。何百万人もの人々が苦しんでいる土地で、この一握りの配給パックは少なすぎると思われるかも知れません。しかし、173世帯の家族にとっては「ほんの一握り」ではなかったと、配給を担当した教会指導者たちは語っています。このささやかな配給パックが苦しんでいる家族にもたらした大きな変化と彼らに植え付けられた新たな希望、子供たちの無邪気な感謝に満ちた笑顔は、寄付をした人たちに豊かな幸せをもたらします。彼らの笑顔は、ヘレン・ケラーの有名な言葉も思い出させてくれます。「他人を元気にする無欲の努力は、自分自身の幸せな人生の始まりとなる」。コロンボワイズメンズクラブは、この貴重な寄付を下さったマカオのモリソン教会の牧師と寛大な信徒の皆さまに深く感謝致します。



の旧知のクラブメンバーである元地域会長リタとパトリック・ヘッティアラッチを通じて、コロンボワイズメンズクラブに直ぐに送金されました。

クラブメンバーは、スリランカYMCA同盟と協力し、プロジェクトを実行に移すため迅速に手配を行いました。日々高騰する国内産食料品の価格にもかかわらず、メンバーは家族が必要とする8種類の乾物・食料品を含む救援パックをデザインする事が出来ました。その中には、米(5キロパック)、粉ミルク、砂糖、紅茶、干物、大豆ミートが含まれています。更に、地元の支援者から40米ドルの寄付を受け、クラブは173食の食料をまとめ、子どものいる173世帯に配給することが出来ました。「スリランカの食糧難の家庭の子どもたちに食糧配給をするプロジェクト」は92年の歴史を持

ジョセフ・タバラジャ
クラブ会長/南西部部長



デンマークのワイズメンが地震の被害者に連帯を広げる



デンマーク区のランダースコフワイズメンクラブは、3月の最初の土曜日に蚤の市を開催し、トルコとシリアの地震被害者への緊急支援活動への資金を集めました。丸一日行われた売り上げは、41,300デンマーク・クローネ（約5,960米ドル）を集めることになり、大きな成果を収めました。この資金は、ランダースコフの赤十字社に手渡されました。

赤十字社会長のエリック・デマントが、クラブ会長のヘニング・グローセンから献金を受け取りました。

エカテリブルグのワイズメンが「家族の居間」を経験するために集合

エカテリブルグワイズメンは、再び、私たちの「家族の居間」に集まり、私たちが、世界に広がるワイズメンズクラブのファミリーであるという、シニールな経験を祝いました。私たちは、年齢も違い、性格も、仕事も、教育も異なり、人生への異なる目標を持ち、異なる定めに在りますが、私たちの全てが唯一つ共通に持つものが、YMIのメンバーであるという経験です。

私たちは、私たちの「居間」をYMIのバナーで飾り、晚餐を用意しました。ラリサ・コノバロバは、YMIの100周年を、それは今年ですが、すべての人たちと祝いました。さらに、集まりの主題である、人としての真の価値である、家族について語りました。多くの質問に対する回答は、私たちそのものの経験や、祖先の経験からも同じようにもたらされています。ここで、私たちは、多くの家族の物語、愛する者の物語、家族の伝統、人生の幸せな瞬間、そして過去と未来を分かち合いました。

ワイズメンズクラブのメンバーの、救済に向かう用意のある誠実さ、善行について、お互いにより良く知り合い、相互理解と結び付きへのさらなる進展への機会につい

て、親愛なる言葉が語られています。大いなるワイズメンの家族が、再びその居間に集まり、素晴らしい夕べを過ごしました。

リュウドウミラ・テイウキナ



料理された食事を前に、食べ物、楽しみ、そしてフェローシップ

さらにもう一回、清掃活動を開始



デンマークオーフス・ノーズフェメンワイズメンズクラブはWeek4Waste清掃作業に参加し、イーイーオーエングスー近くの地域のゴミの収集活動を行いました。作業完了後にホームメイド・パンや持参のおいしいものをいただき暖を取りました。

カナダのクラブは財布のヒモを緩めました



マイケル・サンダースの報告によればカナダ・セントジョーンズワイズメンズクラブはカーペンター・キャンプ場に10人分の参加費を寄付しました。これはYMI誕生100周年を祝してカナダカリブ海諸国地域のワイズメンズクラブが協力して始めた100名の子供をキャンプ場に招待する事業の一環です。子供たちの参加費用として1,800カナダドルの小切手がキャンプ場の責任者のアドリエンス・ボドロウーに手渡されました。



ナシュワアクシスYサービスクラブはフレデリクトンに来たウクライナ移住者を支援するボアズ・グループに対して5,000カナダドルを寄付しました。写真は右からドナルド・エスレイ(クラブ会員)、スコット・ウーズ(ボアズ・グループ)、そしてクリントン・ウォール(クラブ会長)。

YMI 中東区の UAE(アラブ首長国連邦) のアジマン農園での収穫

YMI 中東区はすべてのクラブ会員にアジマン農園ヤコブ・ヴィレッジの有機農場からトマト、チリ、ナス、キャベツなどの第2回目の収穫するよう招待します。

日時:2023年3月23日木曜日午後5時です。各クラブ会長:今回はワイズの子供たちも招待するようにしてください。子供たちも農場での一日をきっと楽しむでしょう。

(実際にどこから野菜や植物がやって来るのか、そしてどのように植物が野菜と関係があるのかを見てください。)



アルバムに1枚

100周年祝賀会における元国際会長



左から ジョン・チョア、藤井寛敏、ジョウン・ウィルソン、ムン・サンボン、ジェニファー・ジョーンズ、
ヘンリー・J・グリンドハイム、ジェイコブ・A・クリステンセン、キム・サンチェ

思い出の場面



1951年の国際大会は、オハイオ州クリーブランドで世界YMCA大会と並行して開催されました。その大会の一環として、高校生のオーケストラが演奏しました。アイオワ州ワシントンのウェンデル・ライダーが作曲・指揮した「ワイズダムスピリット・カンタータ」です。(残念ながら、この曲の楽譜は見つかっていません。) ここで、ワイズメンズクラブとYMCAの関りが新たにされました。



希望は心の深部に

ある者は貧困と
悲しみに目を向ける。
またある者は大胆さに目を向ける
生き残り、構築する為に。

ある者は自暴自棄に目を向ける。
またある者は決意に目を向ける。

ある者は哀れみの理由に目を向ける。
またある者は挑戦の理由に目を向ける。

ある者は多くを望まず
またある者はより多くを望む。

外見は
必ずしも中身を反映しない。

抑圧される者は決して沈黙せず、服従する事はない。
心の中では彼らは大声ではっきりと語っている。
心の中では彼らは尊厳と真実の為に戦っている。

我らが真に希望を希求して初めて
希望を見出す事ができる。
我らが深い所にある物に目を向け
真剣に耳を傾ける事を学んで初めて
希望を見出す事ができる。

希望を自らに示すために
我らが灰燼となった物に
信頼を寄せて初めて
希望を見出す事ができる。

我らは希求する物を
見い出せる。
我らは信頼のある場所を
見つけ出せる。

我らは勇気持っている時
信頼できる。

希望の光は灰燼の中に
確かに見えてきた。
その希望の光を見てごらん!
その希望の声を聞いてごらん!
そして、その希望を自分自身の中に取り込みなさい。

(「夢との対話」からの引用)

平和とは…



平和とは所有すべき物ではなく、
所有する道のりである：

平和とは与えられるべき贈り物ではなく、
与える道のりである：

平和とは教えるべき主題ではなく、
教える道のりである：

平和とは学ぶべき理論ではなく、
学ぶ道のりである：

平和とは持つべき意見ではなく、
持つ道のりである：

平和とは争いの解消ではなく
解消への道のりである：

平和とは説くべき教義ではなく、
説く道のりである：

平和とは仕えるべき神ではなく、
仕える道のりである：

平和とは問うべき質問ではなく、
問う道のりである：

平和とは求めるべき答えではなく、
求める道のりである：

平和とは長い旅の最終地点ではなく、
長い旅の道のりである。

(インターネット上からの引用)

*マックス・エディガーは、カンボジアの「平和の学校」の運営責任者です。


マラリアを終結させるための RBM

闘いに挑もう

目標金額：50 万米ドル
DFID が献金額の
2 倍を拠出

2020 年度目標：10 万米ドル
グローバルファンドに
献金済み


今日献金しよう！
[https://www.ysmen.org/
donate/](https://www.ysmen.org/donate/)



Y'S MEN INTERNATIONAL

ROLL BACK MALARIA (RBM)

STEP UP THE FIGHT



A REVISED ENGAGEMENT

In the global fight to eradicate malaria since 2010 within the RBM Partnership and with more than USD 700 000 already raised, YMI has now entered an innovative, new multi-stakeholder partnership with the World YMCA, The Global Fund and DFID (the international development arm of the UK government), which has agreed to donate USD 2 for every USD 1 we raise.

A NEW STRATEGY

YMI is dedicated to the development of youth-led, community engagement, advocacy and grass-roots education strategically implemented by The Global Fund with its governmental RBM partners and supported locally by the YMCA and our YMI clubs.




A MALARIA FREE WORLD BY 2030

While global efforts have already dramatically reduced the number of malaria-related deaths (by almost 50% over the past decade) progress has stalled. It's time to increase our efforts and reconfirm our commitment. Together let's make the world malaria free by 2030.

Total Goal: USD 500 000
Double matched by DFID

Target 2020: USD 100 000
Paid to The Global Fund.

DONATE TODAY!
<https://www.ysmen.org/donate/>



TheGlobalFund WORLD YMCA DFID Department for International Development

関わり方の変更

YMI は 2010 年以来、ロールバックマラリアパートナーシップに加わり、マラリア撲滅に取り組んで来ていて、既に 70 万米ドル以上を拠出していますが、世界 YMCA 同盟、グローバルファンドおよび私たちが 1 米ドル寄付する毎に 2 米ドル寄付する英国外務・英連邦・開発省との革新的なマルチステークホルダーパートナーシップを締結しました。

新しい戦略

YMI は、グローバルファンドが RBM の政府パートナーとともに戦略的に実施し、また YMCA とワイズメンズクラブが各地で支援する、ユースがリードする地域社会への関与、唱道、草の根的な教育を進めていきます。

2030 年までにマラリアの無い世界を

世界中の努力によって、既にマラリアに起因する死者は、過去 10 年にほぼ半減したほど劇的に減少していますが、今は、やや成果が停滞しています。一層努力し、私たちのコミットメントを確かにしましょう。共に、2030 年までにマラリアの無い世界を作りましょう。